

いちい 10月②



岐南中学校教育目標
自分や仲間の
「夢や希望」の実現のために
自ら重たく

10月!! 秋本番です

朝晩の冷え込みに、本格的な秋の訪れを感じます。岐南中学校も生徒会の新役員が決まり、後期に向かって動き始めました。「勉学の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」と言われるように、秋は最も活動のしやすい季節です。子どもたちにとって、今までの自分たちの生活を見直し、新たなスタートをはじめるチャンスです。3年生は進路実現に向けて、2年生は生徒会活動や部活動の中心として、1年生は学校の活動を支える柱として活躍できるよう指導・援助いたします。保護者の皆様にも一層のご協力ご支援をお願いいたします。

前期、ありがとうございました。

前期が終了しました。様々な取組や行事を通して子どもたちのがんばりや成長がみられました。保護者の皆さん・地域の方からのいつも温かいご支援をいただいているおかげです。ありがとうございます。今後もよろしくお願ひします。

10/7(土)～10/11(水)は、短い秋休みですが、後期に向けて、自ら生活を作り、充実した5日間をしたいものです。

◇ふれあい講座始まる

10月より地域の方を講師に招いて、ふれあい講座が始まっています。講座には、美術・外国文化・スポーツ・将棋・制作活動・音楽関係など26講座があります。子どもたちは、自分の興味関心に応じて縦割り(1～3年の枠を超えて)で講座を選択し、活動しています。3回にわたる講座で、新しい自分の趣味や特技を見つけたり伸ばしたりしてくれることでしょうか。毎年、講師の先生方の熱心なご指導に感謝しています。この活動の成果については、10月21日(土)の学びステーションにて作品の展示等をしますので、ぜひ、ご覧ください。

◇学校保健安全委員会 食育推進委員会 9月26日(火)

学校医さんや学校歯科医さん、PTA代表の皆さんを招いて上記の会を開きました。定期健康診断や体力テストの結果、食生活の状況等について交流しました。学校医さんから朝食の摂取状況について「朝食と成績との関係は密接に関係するから、必ずとらなければならない。」これは「とったほうがいい」のではなく、「とらなければならない」と強いご指導をいただきました。一日の始まりにきちんと食事をとり、授業に備えることは必須であり、子どもたちの心と体を鍛えることにつながると教えていただきました。



◇生徒会選挙、実際の投票箱を使いました! 9月27日(水)

毎年この生徒会選挙を通して有権者の意識を育てたり、自分の考えをつくっていく力をさらに身に付けたりすることを願い、岐南町より投票箱を借用し、学年ごとに投票所を設定し、投票を行っています。それぞれの立候補者が強い願いをもって公約について演説しました。



◇学びステーションについて 10月21日(土)

【学びステーション】では、今まで取り組んできた授業の成果を伝えていきます。午前中は、「学習公開Ⅰ」において授業発表します。

全校集会では、音楽部演奏、各学年の財産の発表（3年生のみ学年合唱有り）、生徒会の発表を予定しています。

また、「ふれあい講座」の作品展示等を行います。

午後は、「学習公開Ⅱ」です。**2年生はこの時間を利用してPTA主催による「DIG訓練（災害図上訓練）」を行います。**生徒が各地区に分かれて、地図の上で自分たちの地域の防災状況、避難経路などを把握していきます。ぜひ、保護者の皆様からもアドバイスをいただきたいと思いますので、奮って参加してくださることを願います。

また、学級懇談会を最後に設けてあります。学級の様子について、学級担任から中間発表をしていきます。ぜひお越しください。

さらに、12月1日(金)の3時間目から6時間目を使って、全校で【合唱ステーション】を行います。全校規模の合唱コンクールです。お互いの合唱を見合い、聴き合うことで大きな刺激を与えたり、与えられたりします。特に、3年生の合唱を聴いて全校が高まることを願っております。お時間の許される方は、ぜひ岐南中学校体育館までお越しください。



◇教育通信について

1年間で渡す教育通信は、前期分と後期分の2通です。

前期と後期とそれぞれ別の用紙で渡します。渡した教育通信は集めませんので、各家庭で保管してください。

教育通信を、後期の学習のために活用してください。そのためには、各教科の「1～5」の数字とともに記入してあるABCの評価を観てください。例を挙げます。

例えば、評価が「3」の場合、ABCの観点別評価は、教科によって次のような違いがあります。

評価	観点（国語以外は4つ）				評価3の意味
3	A	B	B	B	↑ 4に近い3 ↓ 2に近い3
	A	B	B	C	
	B	B	B	B	
	B	B	B	C	

仮にAを1点、Bを0点、Cを-1点として計算してみると、評価が「3」の中にもABCの合計点が1点、0点、-1点という3段階があることとなります。つまり、「評価4に近い3」なのか、「2に近い3」なのかということが、

ABCの記号から読み取れ、後期に努力しなくてはならないことをより明らかにすることができ、（ここに載せた4つは主な例で同じ「3」でも別のパターンがあります。）つまり、このABCの観点によって評価が決まります。

また、評価はテストの結果だけで行うわけではありません。授業での発言や挙手の様子で、理解しているかどうかの判断もします。宿題や課題を出すことは、身に付けるために最低限必要な補足的な学習をさせたいという願いです。提出物を課すのは、授業のノートやワークから学習の取組をある程度の期間分、改めて評価したいからです。理解の仕方を観て指導に生かすことにも活用しています。